



平成 28 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 博報堂DYホールディングス
代表者名 代表取締役社長 戸 田 裕 一
(コード番号 2433 東証第一部)
問合せ先 I R 部 長 八 木 聡
(TEL 03-6441-9033)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 2 月 5 日に公表しました平成 28 年 3 月期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績との差異(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 1,198,000	百万円 41,500	百万円 43,900	百万円 21,900	円 銭 58.77
当 期 実 績 (B)	1,215,250	44,994	47,495	28,531	76.56
増 減 額 (B - A)	17,250	3,494	3,595	6,631	
増 減 率 (%)	1.4	8.4	8.2	30.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	1,131,064	36,821	38,904	19,879	53.22

2. 修正の理由

国内広告市場は、第 2 四半期までは前年同期を 2%程度上回る水準でしたが、第 3 四半期以降は 4%以上の伸びとなるなど着実な市場の伸長がみられました。

このような環境下、前回公表の連結業績見通しにおいて、第 4 四半期売上高を前年同期比 6.0%増加と見ておりましたが、中期経営計画に則り積極的な事業展開を継続した結果、第 4 四半期売上高は前年同期比 11.6%増加とそれを上回る伸びとなりました。また、販管費コントロールを継続したことにより営業利益と経常利益が前回公表の連結業績予想を上回り、それに加えて、一時的な法人税等の押し下げ要因もあり親会社株主に帰属する当期純利益も前回公表の連結業績予想を上回りました。

以 上